

市条例違反の星田駅前パチンコ店建設中止を！

さらがいふみ議員が一般質問



星田駅前で、市の条例に違反するパチンコ店の建設工事がすすめられています。

日本共産党のさらがいふみ議員は、これまでの経過、今後の市の対応などについて質問しました。

交野の環境守ってきた条例無視は許されない！

【質問】交野市の風俗営業に関する現条例が制定された目的は。

【答弁】昭和63年、交野初のパチンコ店が問題となるなか、風俗店の進出をくいじめ、環境の保全をはかるため、条例を制定した。

【質問】以後20年間、この条例が、交野の住環境を守ってきた。しかし近年、他市でも市条例の違反が増えている背景は。

【答弁】平成14年、宝塚市が条例違反のパチンコ店工事差し止めを求めた裁判で、最高裁は、「地方自治体が行政上の義務の実行を求める訴訟は、法律に特別の規定がなければ起こせない」との判決を下した。

【要望】この判決は、独自の条例でまちづくりをすすめる全国の自治体にとって、大問題である。市として、地方自治体の条例の実効性が確保されるよう、国の法律や府条例の整備を求めるべきである。

【質問】市は、昨年1月に、建築主からパチンコ店への計画変更の申し出を受けていた。なぜ、工事の直前まで、議会や市民に計画を知らせなかったのか。

市民とともにまちづくりを

【答弁】本当にパチンコ店を建築するのかわ確認できない状態だった。市としては、適正な時期に情報を提供したと考えている。

【質問】市は、昨年1月に、建築主からパチンコ店への計画変更の申し出を受けていた。なぜ、工事の直前まで、議会や市民に計画を知らせなかったのか。

【意見】府の建築確認が下りた2月2日、遅くても建築主に改善勧告書を出した4月30日の時点で、議会や市民に報告するべきだったと考える。市民とともに交野の環境を守っていく市長の姿勢が求められている。

今後の対応について

【質問】パチンコ店の営業を許可する大阪府公安委員会に、営業を許可しないよう要請しているのか。

【答弁】公安委員会には、これまでも慎重な判断をお願いしてきたが、さらに要請を続けていく。

【質問】条例の罰則規定に基づいて告発する考えは。

【答弁】顧問弁護士と相談して、適切に対応したい。

【要望】市と議会、市民が一体となり、建設・営業の中止に向けて、可能な手立てを尽くしてほしい。



「市財政健全化緊急プランの提言」は、市民参加で作り直しを！

さかの議員が要求

「交野市財政健全化緊急プランの提言」が6月号広報に掲載され、6月4日から13日にかけて市民説明会が開かれました。市は、8月初旬に正式な案にするとしています。プランには、福祉や暮らし支援の多くの施策の切り下げが含まれています。さかの議員は、市民参加で作り直しを求めました。要旨を掲載します。

市民と一緒に、市の将来像をつくる中で財政は検討すべき

中田市長になって7年が経過するが、この間に、交野をどんな町にしていくのか、将来ビジョンが策定されていない。財政健全化がまちづくりの目的ではない。市のめざすビジョンの中で財政計画をたてるべきである。

これからの社会は少子高齢化社会と言われており、少子化対策や高齢者が住みやすい施策が必要であるが、プランの内容は、それらに反する内容となっている。4月に財政健全化推進室を設置して、1ヶ月余の短期間でプランを作成したという安易さが問題である。

プランには、「住民自治の確立」「市民と認識の共有」と書かれている。このことを実現するために、プランの作成段階から市民参加を行うべきである。

6月に10回開かれた市民説明会の参加者は、約100名で非常に少ない。

案を作成してから市民の意見を聞くのと、最初から市民と一緒に案を作成するのでは大きな違いがある。最初から市民とともにつくりたい。

案を作成してから市民の意見を聞くのと、最初から市民と一緒に案を作成するのでは大きな違いがある。最初から市民とともにつくりたい。



15億円の基金の活用を

国の09年度の第1次補正予算で、交野市に数億円の臨時交付金が入ってくる。プランの財政見通しの変更が必要である。市の財政は、国の政策により大きく影響される。

財政計画の目標年度はH27年度となっている。H27年度以降、市の借金返済は大きく減少するにもかかわらず、H27年度に15億円の基金を残す計画となっている。基金を5億円取り崩せば、福祉の切り下げを行わない計画策定にできる。